



カーボンニュートラル CARBON NEUTRAL

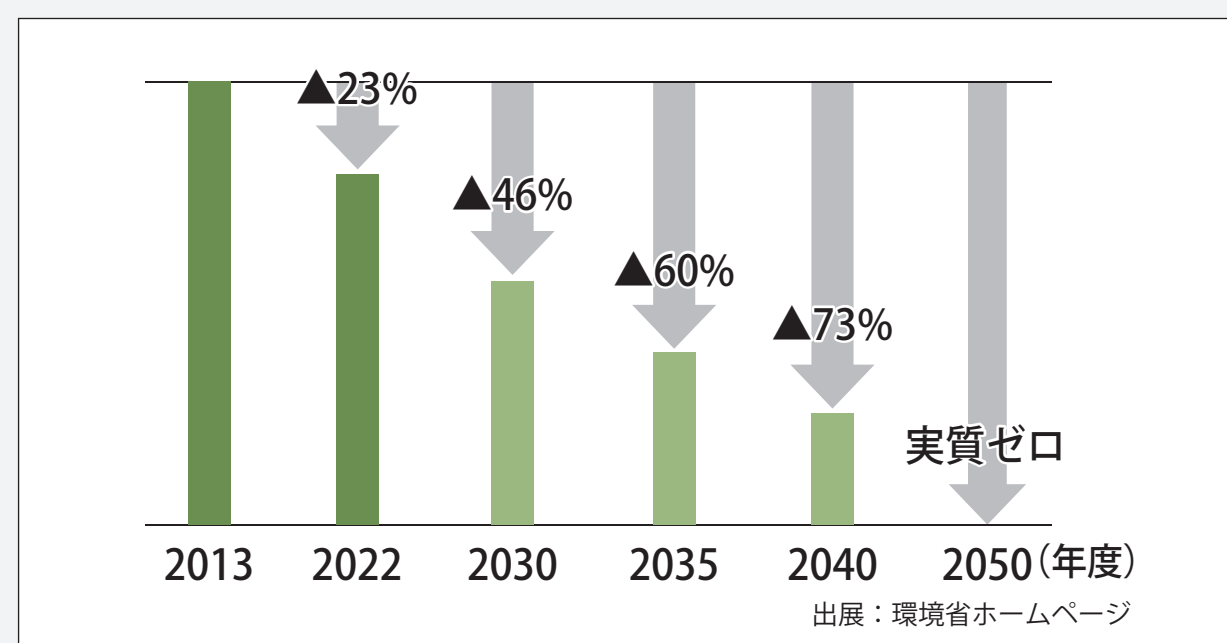
フォークリフトへのHVOバイオディーゼル燃料の活用



電動化が難しい現場でも、
HVOバイオディーゼル燃料の活用により、
エンジンフォークリフトでCO₂削減。

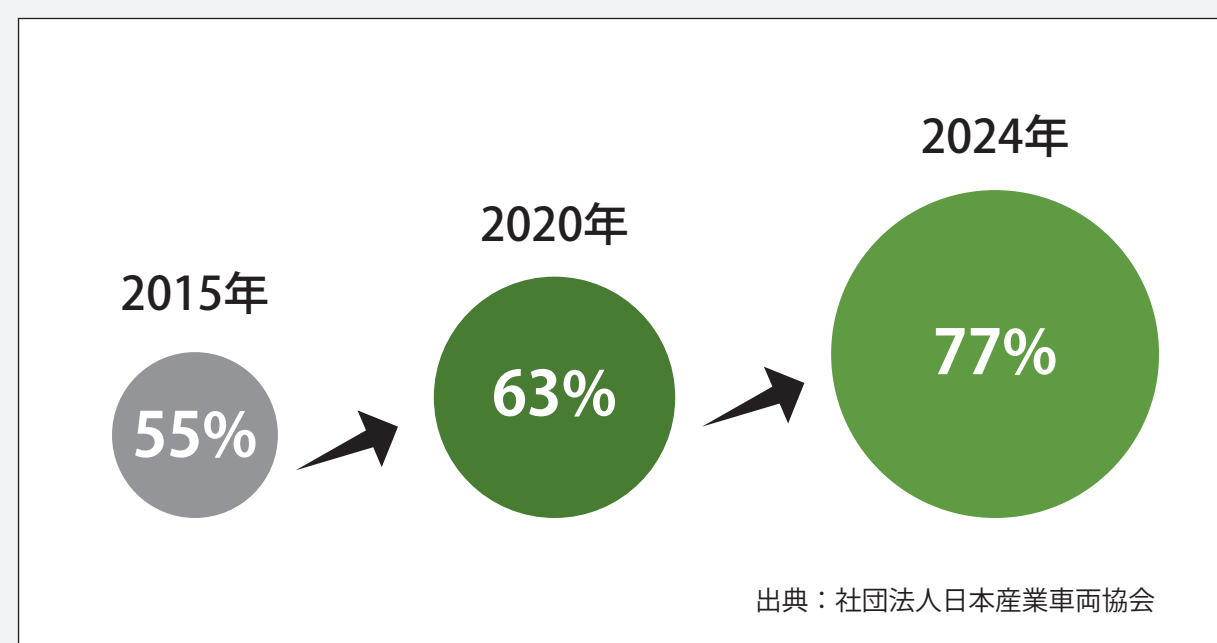
フォークリフトにおけるCO₂削減動向

日本の温室効果ガス削減目標



日本は、2050年度における温室効果ガス排出実質ゼロに向け、段階的な削減目標を表明

国内フォークリフト市場における電動車比率



企業にとってもCO₂削減が新たな経営課題となっており、フォークリフトにおいても、電動車比率は年々増加

フォークリフト電動化の主な阻害要因



お客様の使用環境によっては、電動化が進まず、エンジンフォークリフトを継続的にご使用いただいているケースもあり、対応が課題

当社ディーゼルエンジンフォークリフトで、『HVOバイオディーゼル燃料』への対応を準備中

COMING SOON!

トヨタL&Fでは、フォークリフトの電動化が困難なお客様に向けたCO₂削減策として、「HVOバイオディーゼル燃料」をエンジンフォークリフトに活用いただけるよう、準備を進めています。

- 燃料系の一部部品を交換することで、新車でも、現在お使いのフォークリフトでも使用可能
- 大阪万博建設事業をはじめとした複数のお客様現場での実証実験により、CO₂削減効果を確認

トヨタL&Fが提供する、フォークリフトのCO₂削減に貢献する商品

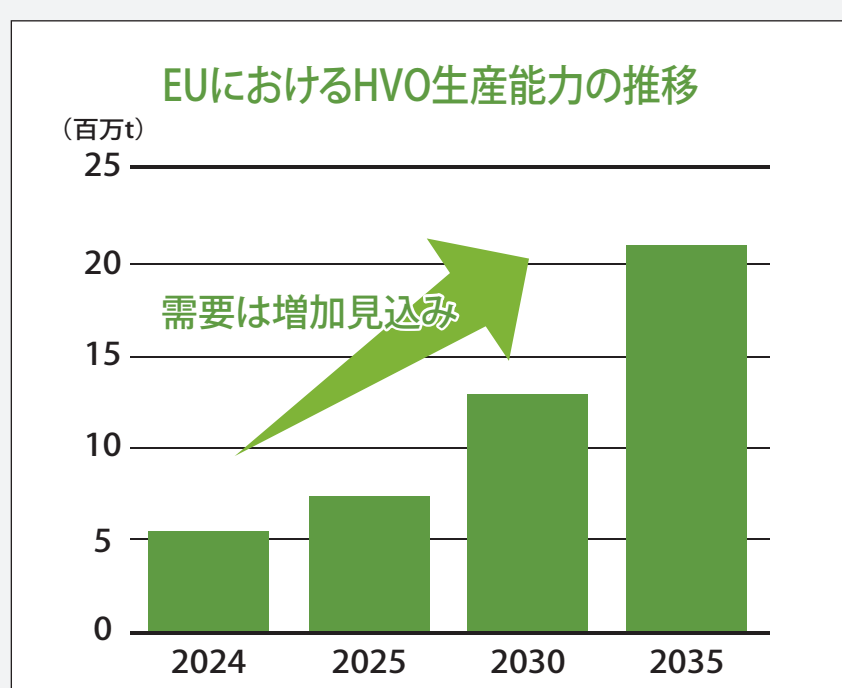
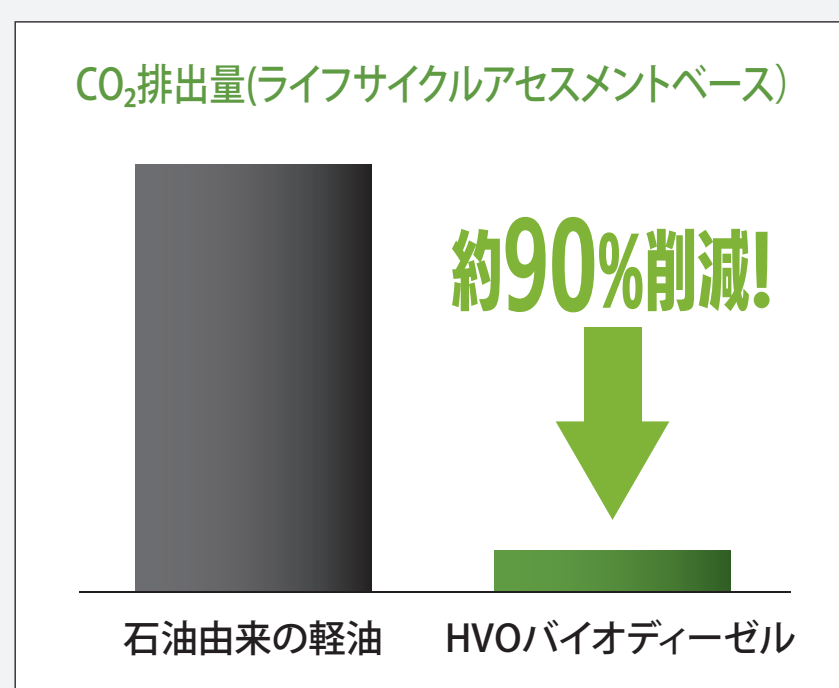


HVOバイオディーゼル燃料

HVOバイオディーゼル燃料とは

- 従来のバイオディーゼル(脂肪酸メチルエステル、FAME)と同じ原料から異なる技術で製造
- 軽油の代替として使用可能
- ライフサイクルアセスメント(※)ベースで、CO₂排出量は石油由来の軽油比約90%削減
- 従来のバイオディーゼル燃料と比較し、食料競合なし・長期保管可能・寒冷地使用可能などのメリットあり

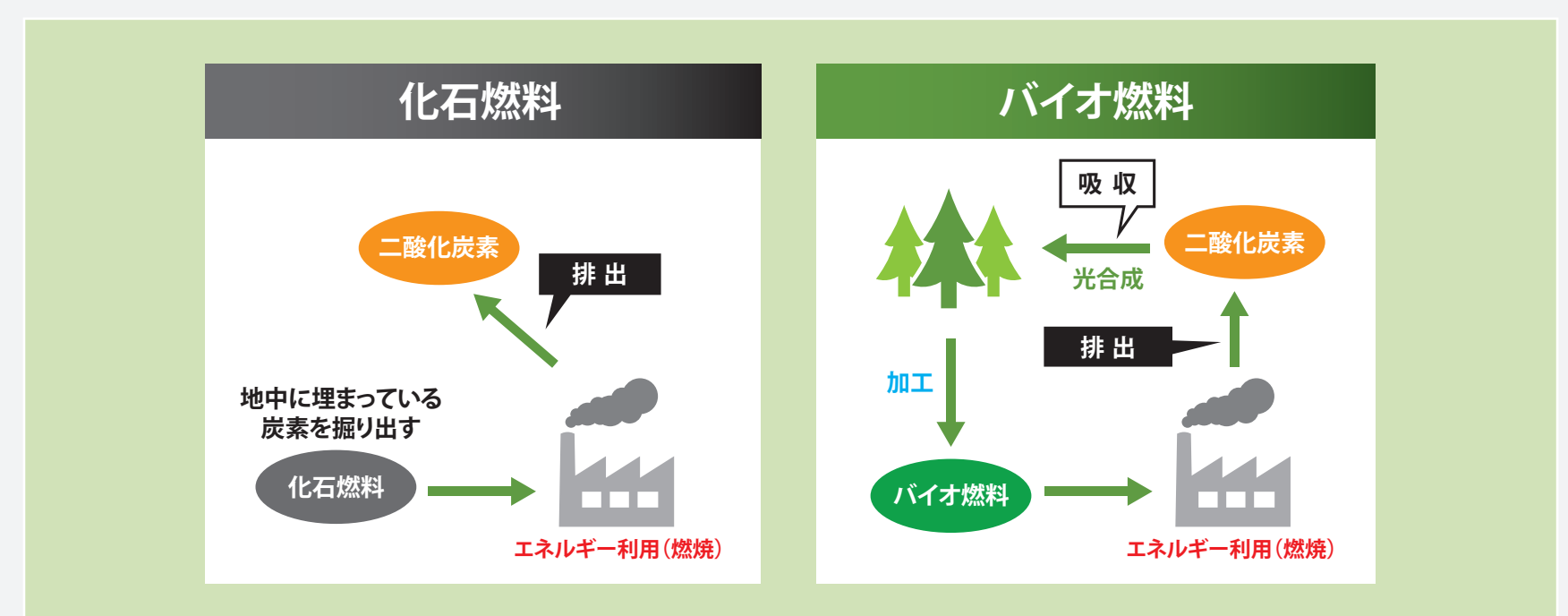
※ライフサイクルアセスメントとは、製品の原材料調達、製造、流通、使用、廃棄またはリサイクルに至るまでの各段階で発生するエネルギー消費や環境負荷を分析・評価する手法です



出典：SGS INSPIRE

なぜCO₂削減につながるのか

HVOバイオディーゼル燃料を燃焼すると、石油などの化石燃料と同じようにCO₂を排出しますが、原料となる植物の成長過程において光合成を行うことでCO₂を吸収しているため、燃焼時のCO₂の排出量はプラスマイナスゼロになると考えられています。これが「カーボンニュートラル」と呼ばれる概念です。



その物流に、ジャストソリューション。

TOYOTA L&F